

# 真砂小学校区コミ協だより

第31号

令和3年9月15日

発行:真砂小学校区コミュニティ協議会  
編集:真砂小学校区コミュニティ協議会広報部会

## 第31号掲載ご案内

- 【第一面】:「令和3年度定期総会」報告
- 【第二面】:自治会紹介 希望が丘自治会
- 【第三面】:自治会紹介 寺尾台自治会
- 【第四面】:コミ協部会報告 生活環境部会 編集後記

## 「令和3年度定期総会」報告(書面表決)

今年度の総会につきましては、感染拡大防止の観点から「文書による審議」で実施しました。表決の結果は回答数90%(38/42)、賛成97%(37/38)で承認されました。

第1号議案…令和2年度業務・事業報告・収支決算  
下表参照

第2号議案…令和3年度業務・事業計画、収支予算  
前年度を踏襲し、前年度評価・反省事項を生かしながら取り組む。業務・事業の執行にあたっては効率的執行に留意して取り組む。

一、主な事業計画

①イルミネーション事業Ⅱ真砂小学校校舎裏のグラウンド、バックネットに掲出しているものを、学校正面に移動、掲出できないか、また、真砂小学校50周年イベントに合わせてデザインや、点灯イベントに繋げる取り組みをしたい。

②市補助金で運営費補助金(運営費、活動費)の割合が変更となり、イルミネーション事業を地域活動補助金に、広報誌発行を運営費・活動費に組み替える。

二、令和3年度真砂コミ協予算(前期予算比較)  
下表参照

## 第3号議案 役員選任

- 会長 高田 豊
- 副会長 伊藤 健一
- 副会長 前川 倫子
- 事務局長 井田 進
- 会計監査長 高田 進
- 会計監査長 八子 聡
- 福祉部長 三國 義則
- 青少年健全育成部長 前川 倫子
- 文化部長 漆原 尚
- スポーツ部長 高田 信也
- 生活環境部長 下川 信也
- 交通安全・防犯部長 根本 修一
- 広報部長 池田 健一
- 防災部長 藤田 健一

- 高田 豊 (兼務)
- 伊藤 健一 (兼務)
- 前川 倫子 (兼務)
- 井田 進 (兼務)
- 高田 進 (兼務)
- 八子 聡 (兼務)
- 三國 義則 (兼務)
- 前川 倫子 (兼務)
- 漆原 尚 (新任)
- 高田 信也 (兼任)
- 下川 信也 (兼任)
- 根本 修一 (兼任)
- 池田 健一 (兼任)
- 藤田 健一 (兼任)

項目	当期	前期	比較
前年度繰越金	367	434	▲67
収入の部			
活動・運営助成金	1,950	2,150	▲200
事務所借上補助金	518	518	0
会費収入	376	381	▲5
雑収入・他	89	144	▲55
収入合計	3,300	3,627	▲327
支出の部			
活動補助金	1,150	1,300	▲150
運営助成金	450	450	0
運営費	450	450	0
事務所借上料・他	525	525	0
内規会計	725	902	▲177
支出合計	3,300	3,627	▲327

※【各事業予算】 (当期) : (前期)

①イルミネーション(独自)	200,000円	200,000円
②福祉部会	150,000円	200,000円
③青少年健全育成部会	200,000円	150,000円
④生活環境部会	400,000円	200,000円
⑤交通安全・防犯部会	200,000円	200,000円
⑥防災部会	200,000円	200,000円
⑦文化部会	120,000円	120,000円
⑧スポーツ部会	130,000円	130,000円
⑨広報部会(運営費)	200,000円	177,000円
⑩真砂人材センター(独自)	0円	100,000円
⑪真砂文化祭(独自)	0円	250,000円

## 令和3年度収支予算(前期予算比較)

項目	予算額	決算額	増減
繰越金	433	433	0
収入の部			
市補助金	2,668	2,668	0
会費収入	382	382	0
雑収入・他	144	77	▲67
収入合計	3,627	3,560	▲67
支出の部			
活動補助金	1,300	384	▲916
運営助成金	450	19	▲431
運営費	450	309	▲141
事務所借上料・他	525	515	▲10
内規会計	902	526	▲376
支出合計	3,627	1,753	▲1,874

次期繰越金 367千円  
他に翌期補助金返済額 1,440千円

## 【実施した事業】

- ①広報部会 広報誌29・30号の発行
- ②生活環境部会 ハマニンク植栽
- ③スポーツ部会 コミ協杯ゴルフ
- ④交通安全・防犯部会 青色・防犯パトロール

## 【中止した事業】

- ①真砂文化祭 ②人材センター事業
- ③文化部会 ④スポーツ部会の一部
- ⑤青少年健全育成部会 ⑥福祉部会
- ⑦防災部会

## 令和2年度収支決算



「静かな自治会に子どもたちの声」

会長 宮山 裕子

希望が丘自治会は、現在122世帯が居住していて穏やかで静かな空気が流れています。特徴は、小規模な自治会ながら南北に細長い形を成していてAブロックとBブロックに分かれ、中間地点の道沿いは他の自治会の世帯が入っていて、とても複雑な形であることです。

また「希望が丘」というオシャレな自治会名は、住所の真砂1丁目と小針西2丁目とは違って、最寄りのバス停は「小針自由ヶ丘」。20年住んでいる私でさえ「あれ？何だっけ？」と間違えてしまうことがある程なので、外から来られた方はなおさら複雑で（??）となってしまうのではないのでしょうか（名前の由来などは60年以上前のことによくわかりません）。

もう一つの特徴は、会長は一年交代であるということ（再任は妨げない）。一人に偏らずにできるだけ多くの方が自治会活動に携わりましょうという平等な精神のもとにこのような形となっています。

しかし高齢の方の世帯が増えこの形も限界を迎え、会長任期や選任方法が見直されている所です。



砂丘地にある自治会

会長 滝澤 正之

寺尾台自治会は、真砂小学校校区の西側に位置し、北側の一部分で寺尾中央公園の東側出入口に接しており、砂丘地のため標高が高く日本海を眺望できる場所もあります。南側ではJR越後線に接しています。西大通りを境に北側が真砂小学校校区で、南側が坂井輪小学校区になっています。7ブロック19班で構成する自治会となっています。

毎年春の自治会総会のあとに、前年度の事業や決算報告、新年度の事業計画や予算、役員名簿などを記載した自治会会報誌「あけぼの」を発行しています。今年度は、第78号を発行し全世帯に配布しました。

毎年5月、7月、9月に町内一斉清掃を実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により昨年引続き今年5月の町内一斉清掃を中止しました。なお、

寺尾台自治会の紹介

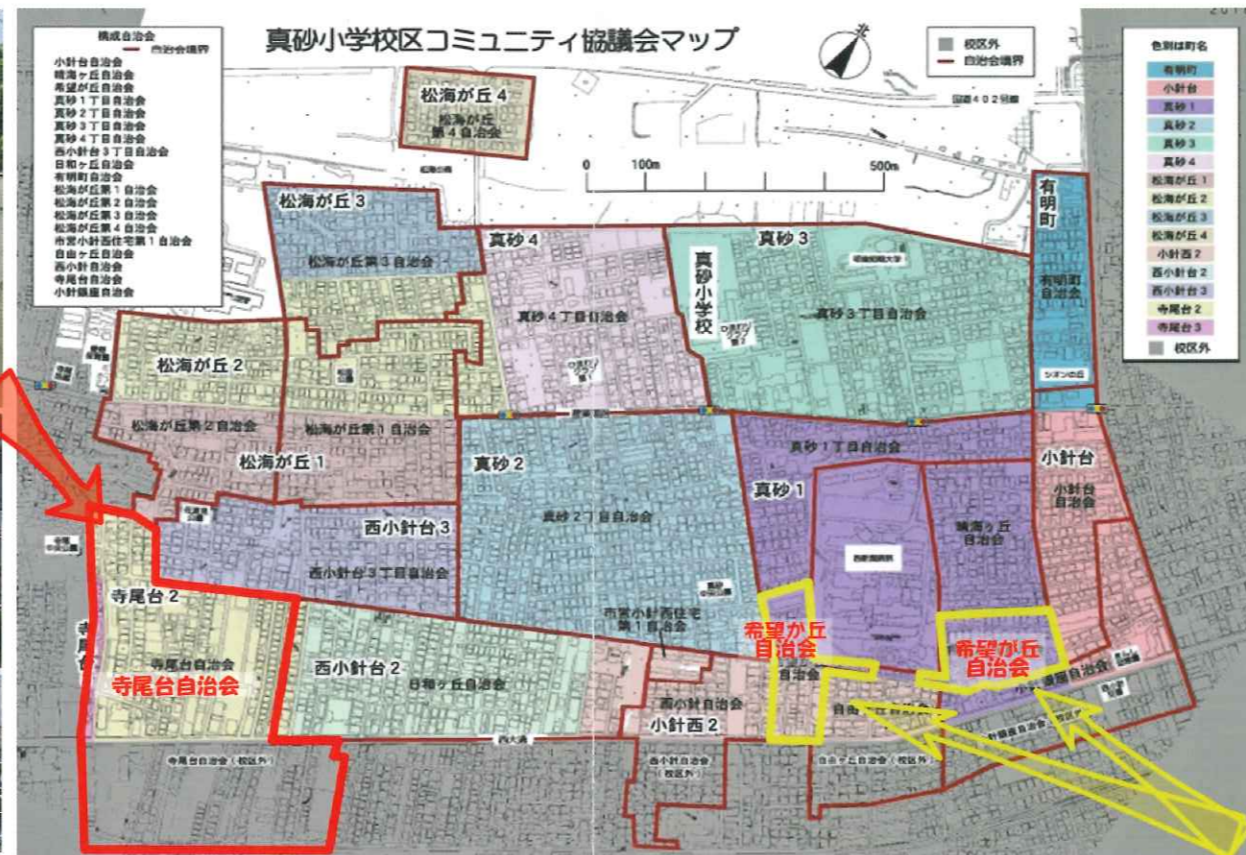
7月の町内一斉清掃は実施しました。町内一斉清掃に際してJR越後線沿いの道路の草刈りも実施しています。また、永年お一人でご自宅に隣接する「ひまわり公園」のために、四季折々の花々を整備してくださった方の功労に対し、昨年度に新潟市西区公園愛護連絡協議会から表彰状が贈られました。



JR越後線沿いの道路の草刈り



ひまわり公園



朝のラジオ体操

そんな自治会にこのところ若い世帯のプチ新築ラッシュ（わが自治会にとっては大新築ラッシュ）の波が押し寄せ、特に乳幼児さんが増え、明るく可愛いらしい声が聞かれるようになりました。それに伴い子どもたちが安全に楽しく遊べる場所の確保が新たな課題の一つになっています。自治会には公園や会館がありません。せめて子どもたちが道路に飛び出して危険な事にならないようにちよつとした広場でもあれば…。若いお母さんやお孫さんを持つ祖母の方からの切実な声です。広場があればお年寄りの方も憩える場になりお互いが顔を合わせることで見守りにもなり、繋がりも出来るでしょう。

長引くコロナ禍で自治会の行事も制限され家にもりがちな生活が普通になっています。近所の人言葉が掛け合ったり、笑い合ったりして日常生活を送れることが幸せな事だと実感しているこの頃です。

- 7月末現在の主な自治会活動
- ・ 高齢者見守り電話
- ・ 友愛訪問
- ・ 一斉清掃
- ・ 雨水枿薬散布
- ・ 交通安全指導と校区内巡視
- ・ ラジオ体操



災害発生時の対策のひとつとして、自治会内のいくつかの事業所と、当自治会員がそれぞれの事業所の駐車場を災害発生時に一時避難場所として利用できるよう覚書を結びました。

上新栄町地区から西大通りに抜ける車両が速度を落とさずに通り抜けていることから、通学時間帯の子供たちを含め地域住民の交通安全上の危険性を指摘する声がありました。そこで、関係各機関と協議しながら役員会において、「ゾーン30」指定などの検討を行いました。しかし、当自治会のみでの対応には限界があることから、昨年の11月に自治会内の一部市道の「30キロ速度規制及び駐車禁止規制」を行っていただくよう新潟西警察署に要望書を提出しました。

例年、文化活動として講師の方を招き医療や介護など生活に役立つ講演会などを実施してきましたが、昨年度に引続き今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。



真砂小学校が  
創立50周年を迎えます

「新潟市立真砂小学校  
創立50周年記念事業について」

創立50周年記念式典・ふれあい音楽祭

日時：令和3年10月23日(土)午後1時～  
場所：りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館

創立50周年記念祝賀イベント

日時：令和3年10月23日(土)夕方  
場所：真砂小学校グラウンド

尚、時勢により計画が変更になる事もあります。

飛砂防止植栽

生活環境部会

今年度は、人工砂丘に「はまみどりマット」  
を敷いて、ハマニンニクとハマゴウを植栽

今年の3月26～27日に海岸道路402号の飛砂対策として、人工砂丘の法面(のりめん)に「はまみどりマット(麻袋に腐葉土等を入れたもの)」を敷き、

その上を砂で被い、そこにハマニンニクとハマゴウを植栽しました。今回は植栽方法を変えたので2回(2日)に分けて作業しました。

26日は植栽の下地づくりとして、法面のトンネル下手、道路側にマットを敷く作業を行いました。



「はまみどりマット」上への植栽



ハマニンニクとハマゴウの植栽作業

この作業には各自治会から20名が参加。午後1時30分より短時間で終了しました。  
翌27日は午前10時集合で前日に敷いたマットの上にハマニンニクとハマゴウを交互に植え付けました。

この日の作業には国交省信濃川下流河川事務所・足立所長、他2名、区役所建設課・渡辺課長、他3名が参加。足立所長と渡辺課長からは、今後一緒に進めたい、との激励を受けました。なお、この事業には一般社団法人「北越地域づくり協会」からの支援を受け、「はまみどりマット」の寄贈がありました。

又、この事業は区役所の地域活動補助金を受けて例年実施しています。

人工砂丘に堆積した砂を

「かき下ろす」作業にボランティアで参加

海岸道路402号の飛砂防備の人工砂丘には、冬季に飛砂が堆積して、放置しておく、法面を防備するための植物が枯死します。

区役所建設課では4月16日午前、職員がトンネル上手の法面に堆積した砂をトンボで「かき下ろす」作業をしました。



堆積砂のかきおろし作業



飛砂で埋もれた砂丘法面

この作業に真砂四丁目や生活環境部会員の有志8名がボランティアで参加しました。砂丘の頂上の方は1m近く堆積していて、大変な作業で充分に除けませんでした。なお、区役所では、後日に機械を入れて補正しました。

編集後記

真砂小学校の創立50周年、誠におめでとうございます。卒業生総数5,500名強の真砂っ子は、全国各地の諸分野において活躍中のことと思います。今後一層の高揚と後進の育成を期したいものです。

さて、本年の勲章受章に本誌第26号で紹介しました元広報部会長・小林知昭氏が団体功労賞である「旭日単光章」を受賞しました。今後なお一層のご活躍をお祈り申し上げます。

「コロナの勢いは止まりません。お互い自重しましょう！」